

実験の結果等について

1. 実験の概要

- (1) 目的 市有施設で、ストップボタン付き節水シャワーヘッドを使用することにより、職員の負担軽減につながるか、また、どの程度の節水効果が顕れるか実験したもの。
- (2) 対象 福祉施設2施設（主な使用用途は入浴）※養護老人ホーム等にて実施
保育園 3施設（主な使用用途は園児の汚れ処理、水浴び）
- (3) 方法 ①ストップボタン付き節水シャワーヘッドと、②節水機能のないシャワーヘッド（ストップボタン及び散水板の節水効果がないもの）をそれぞれ2週間ずつ使用し、流量計で使用水量を正確に計測した。

2. 結果

保育園は、園児の活動内容が日によって異なり、実験結果にバラツキが見られたが、福祉施設では利用者の活動が一定していることから、節水シャワーヘッドのストップ機能を適切に使用することで大きな節水効果が得られた。

(1) 実験結果

※1日平均使用人数のカッコ内（保育園分のみ）は、水浴び人数

施設名	シャワーヘッドの種類	1日平均使用人数	1人当たり1日平均使用水量	節水率	備考
福祉施設A	① 節水機能あり	32.5	23.63	45%	
	② 節水機能なし	31.8	43.26		
福祉施設B	① 節水機能あり	20	7.44	68%	
	② 節水機能なし	20	23.40		
保育園A	① 節水機能あり	3.7(0.4)	2.94	2%	
	② 節水機能なし	4.8(0.7)	3.01		
保育園B	① 節水機能あり	3.1(1.5)	3.52	▲74%	②の実験期間は、プール利用終了に伴い、水浴びが極端に増加
	② 節水機能なし	16.3(13.3)	2.02		
保育園C	① 節水機能あり	20.1(8.4)	2.52	36%	
	② 節水機能なし	14.0(1.6)	3.94		

(2) 上記実験施設での職員へのアンケート結果

区分	問1 節水シャワーヘッドの使い勝手はどうか	問2 ストップボタンがあると節水につながるか	問3 ストップボタンがあることで節水意識は高まるか	問4 ストップボタンがあることで作業効率・集中力の向上につながるか	問5 ストップボタンは負担軽減につながるか
<ul style="list-style-type: none"> ■ 高評価 ■ どちらでもない ■ 低評価 					

(自由意見)

- ・シャワーヘッドを持った手で、ストップボタンの操作ができるので、作業効率が良い。
- ・使用時に今までより肌にあたる感触が優しくなり、子どもにも安心して使えるようになったと思う。
- ・子どもの手の届くところにある時は、ボタンと蛇口両方切りにしていたのであまり使い勝手がよいと思わない。